

「栄養の日・栄養週間 2020」実施要領

1. 趣 旨 (公社) 日本栄養士会は 2016 年に、全ての人びとの健康の保持・増進を実現するために、「栄養の日(8月4日)」、「栄養週間(8月1日～8月7日)」を制定しました。

「現代日本に栄養問題はない」と言われています。確かに、食料不足による栄養欠乏症は少ない現状にあります。しかし、食生活の欧米化と日常活動(運動)の軽減による肥満・生活習慣病が増大する一方で、高齢者、傷病者、さらに若年女性に新たな低栄養問題が発生し、我が国も WHO が提言している栄養不良の二重負荷(Double burden of malnutrition)状態になりつつあります。介護の原因の多くが過剰栄養による生活習慣病と低栄養による虚弱であることから、国の基本施策として進められている「健康寿命の延伸」を達成するためにも、栄養不良の二重負荷という課題の解決に向けた活動が必要と考えます。

また、今日の日本では、食に関するさまざまな情報があふれ、各種メディア、インターネットなどの偏った情報に苦慮する国民は少なくありません。私たち管理栄養士・栄養士は、科学的根拠に基づく栄養情報を国民に発信し、日本の栄養課題の解決に向けて活動することが使命であると考えています。

(公社) 日本栄養士会は、「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みを通じて豊かで活力ある未来を創るために、また、「Be better, together /より良い未来へ、ともに進もう。」をコンセプトとする「東京 2020 大会」の機会に、スポーツ栄養、身体活動を考える(運動、栄養、睡眠)観点から、現代の多様化する食・栄養課題に対して、エビデンスに基づいた正しい情報を発信し、人々の適切な食生活の実現に努めます。国民の健康・福祉の向上を図り、社会活動の充実に努めます。食卓に笑顔があふれ、健全な心身を育み、そして一人ひとりが自己実現を叶える、元気な未来の日本をつくります。「栄養の日・栄養週間 2020」では、これらを宣言するとともに、管理栄養士・栄養士の活動の場で国民運動として推進していきます。

2. 主 催 公益社団法人 日本栄養士会、47 都道府県栄養士会

3. 共 催 (予定)

一般社団法人 全国栄養士養成施設協会 (2020 年度全国栄養改善大会)

4. 後 援 (2019 年度実績)

厚生労働省、農林水産省、消費者庁、内閣府食品安全委員会、兵庫県、神戸市、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所、健康・体力づくり事業財団、骨粗鬆症財団、児童育成協会、食品等流通合理化促進機構、全国学校栄養士協議会、全国社会福祉協議会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、日本アレルギー学会、日本医師会、日本栄養改善学会、日本栄養学教育学会、日本栄養・食糧学会、日本看護協会、日本給食経営管理学会、日本外科代謝栄養学会、日本骨粗鬆症学会、日本在宅栄養管理学会、日本歯科医師会、日本小児アレルギー学会、日本小児臨床アレルギー学会、日本静脈経腸栄養学会、日本食育学会、日本食品衛生協会、日本腎臓学会、日本スポーツ栄養学会、日本スポーツ協会、日本摂食嚥下リハビリテー

ション学会、日本透析医学会、日本糖尿病学会、日本病院会、日本病態栄養学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本薬剤師会、日本臨床栄養学会、母子衛生研究会（順不同）

5. 期 間 2020年8月1日（土）～7日（金）を中心とした7月から8月
（「栄養の日」：8月4日、「栄養週間」：8月1日～7日）

6. 名義使用期間 許可日から2020年8月31日まで

7. 実施企画

- ・栄養ワンダー2020（全国活動先および47都道府県栄養士会イベント）
- ・2020年度全国栄養士大会
- ・市民公開講座
- ・特設Webサイト
- ・広報活動

8. 開催場所

- ・栄養ワンダー 2020（全国活動先および47都道府県栄養士会イベント）
各管理栄養士・栄養士活動先（2,000か所程度）、47都道府県栄養士会各イベント会場
- ・2020年度全国栄養士大会
グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）/大阪市北区中之島5-3-51
- ・市民公開講座
グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）/大阪市北区中之島5-3-51 他
- ・特設Webサイト
日本栄養士会ホームページ内（<https://www.dietitian.or.jp/84/>）
日本栄養士会「NU+（ニュータス）」内（<https://www.nutas.jp/84/>）

9. 「栄養の日・栄養週間 2020」の概要

(1) 構成

- 栄養ワンダー 2020（全国活動先および47都道府県栄養士会イベント）
管理栄養士・栄養士の活動先（医療施設、介護福祉施設、事業所の給食施設を中心に約2,000か所想定）で国民30万人を対象に、栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の職能認知・普及を目的に、それぞれイベントを実施します。管理栄養士・栄養士が、「東京2020大会」の機会に、スポーツ栄養、身体活動を考える（運動、栄養、睡眠）観点から、施設利用者および地域住民を対象に、栄養に親しんでもらうオリジナルイベントを全国で開催します。
会場では栄養相談や「栄養の日」特別メニューの提供、「栄養ワンダーブック 2020」の配布等を実施いたします。また、国民20万人を対象に、特別協賛企業に提供いただく商品の配布を予定しています。
- 2020年度全国栄養士大会
全国栄養士大会は、全国の管理栄養士・栄養士が一堂に会し、管理栄養士・栄養士が一致して取り組むべき課題を協議し、対応や実践の方法を共有することを目的としています。誰一人取り残さない日本の栄養政策を推進するために、2020年は「持続可能な社会の実現のためにできることー栄養不良の二重負荷の解決をめざすー（仮）」をテーマに開催します。
- 市民公開講座

市民一人ひとりの健康・栄養に対する関心が高まる中、情報提供の機会を設け、市民の多様な情報提供要求に応えることを目的として、市民公開講座を開催します。

● 特設 Web サイト

「日本栄養士会ホームページ：<https://www.dietitian.or.jp/84/>」（管理栄養士・栄養士向け）と「NU+（ニュータス）：<https://www.nutas.jp/84/>」（国民向け）で、特集コンテンツ、栄養ワンダー（全国活動先および 47 都道府県栄養士会イベント）の情報等、「栄養の日・栄養週間 2020」に関連した記事を掲載します。また、国民に対して、栄養の自分ごと化、管理栄養士・栄養士職能の認知理解を目的とした「栄養力診断」を同サイト上で実施します。

● 広報活動

日本の栄養課題および「栄養の日・栄養週間 2020」に関連した施策の認知拡大を目的に、広報活動を実施します。

(2) 統一テーマ：

栄養をたのしむ ー運動・スポーツから考える、栄養のすごいー

(3) 日程表（予定）

- ・ 栄養ワンダー 2020（全国活動先および 47 都道府県栄養士会イベント）：
2020 年 7 月 1 日（水）～8 日 31 日（月）
- ・ 2020 年度全国栄養士大会：
2020 年 8 月 22 日（土）・23 日（日）
- ・ 市民公開講座：
2020 年 6 月～8 月予定
- ・ 特設 Web サイト展開：
2020 年 7 月 1 日（水）～8 日 31 日（月）
- ・ 広報活動
2020 年 6 月～8 月予定

(4) 参加予定者数（概数）

- ・ 栄養ワンダー 2020（全国活動先および 47 都道府県栄養士会イベント）：
管理栄養士・栄養士 6,000 人、国民 30 万人（活動先イベント 2,000 か所の対象者）
- ・ 2020 年度全国栄養士大会：
管理栄養士・栄養士・学生計 1,900 人
- ・ 市民公開講座：
一般市民 300～400 人